



都工 PTA新聞

平成23年9月29日
 発行 No.53
 都工PTA 広報委員会
 生徒数 710名
 男子 619名
 女子 91名



ラグビー部顧問
 西山義文先生

都工ラグビー部は、3年生5名、2年生13名、1年生8名の計26名です。都城・北諸地区に中学校のラグビー部が存在しない為、都工に入学してからラグビーをはじめた、素人集団です。

部の活動方針は、(1)人間的成長(2)競技力向上(3)青春の思い出づくり(4)都工ラグビー部復活の4つを掲げており、ラグビーを通して社会に通用する資質や能力の習慣を目指しています。

今後の目標は、11月に開催される全国花園大会県予選です。夏は、8月上旬に綾町で3泊4日の強化合宿、8月中旬に鹿児島県宮之城町に3日間の遠征試合、9月下旬は本校グラウンドで合同練習及び福岡遠征、10月上旬は、本校で練習試合と熊本遠征、最終強化合宿と予定しています。3年生が最後の公式戦になるので、目標であるベスト4を目指し、都工でラグビーという競技を選んだ良かったと実感できるような試合をしたいと思ひます。そして、応援してくださった全ての方々へ感謝の気持ちを忘れず、見ている人が感動するような都工ラグビーを見せたいと思ひます。



ラグビー部 主将
 大元 優作

私たちラグビー部は"花園出場"という目標のため、日々練習に励んでいます。

今年の高校総体では、自分達のプレーが出来ず負けてしまいました。その悔しさを胸に夏の3泊4日の綾合宿や、3日間日帰りの宮之城遠征などを乗り越えてきました。

3年生が5人と他の部活に比べてとても少ないのですが、まとまりがあり雰囲気もとても良いチームです。つらい時こそ声を出して前向きに頑張るのがチームの課題です。これからも練習試合や合宿があると思うけど、それもチーム全体で乗り切って良いコンディションで花園予選を迎えられるように、キャプテンとしてチームをまとめたいです。

聞くと聴く

PTA会長 嶽 利 浩



早くも初秋の頃になり朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年度、本年度の役員の皆様には、各種の参考資料が少なく、不便な思いをさせていることに対しまして、大変心苦しく思っております。そのような状況の中、第5回「PTA主催学年別クラス対抗ミニバレー大会」が開催されました。忙しい最中にもご参加頂いた会員の皆様、そして運営にご協力頂いた役員・関係各位の皆様のおかげを持ちまして、170名を超える参加者のもと、盛大のうちに無事大会を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

さて、現代はコミュニケーションの大切さが叫ばれています。子供達が社会に出たら、様々な人々の係わり合いが増えてきます。いろいろな人と交流していく中で、様々な誤解も生じる場合も多々出てくることでしょう。他人と上手なコミュニケーションを身につけるためには、自分の考えを的確に相手に伝えていく手法を身につけなければなりません。相手の考えを理解するために話を良く聞き、ことばを介して相手の心の中を聴く必要が有ります。都工の生徒には、本音はどこにあるのかを想像しつつも、相手を気遣いながら、思いやりのある会話を進めて行ける大人に成長して貰いたいと思います。

最後になりますが、残り半年あまり環境美化活動を筆頭に来年のPTA総会まで会員の皆様にはご協力頂く行事が多々あります。私たちの子供達の為に今以上のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

こころ広く こころ高く こころ深く 心温かく

校 長 井 上 俊 幸



4月24日のPTA総会以来、皆様には、地区集会、環境設備活動、ミニバレーボール大会等、素晴らしい取組みをしていただきました。これからも9月16日：就職試験開始、10月1日：体育大会、11月3～4日：都工祭、12月13日～16日：修学旅行と大きな学校行事等が控えていますので、引き続き活発なPTA活動をお願いします。

冒頭の言葉「こころ広く こころ高く こころ深く こころ温かく」は、元興業銀行の頭取、中山素平さんの言葉です。存亡の危機にある企業の再建を数多く行ない、経済界の鞍馬天狗と呼ばれ、戦後日本の経済発展を支えた方です。人生のあらゆる場面で、自分を振り返るときに、気づかされる「人生訓」です。工業高校は子どもたちに「ものづくり」を育みながら、生徒一人一人を育てる学校です。「ものづくり」は「こころづくり」「ひとづくり」だと思います。これからも、保護者、教職員、地域社会が一体となり、「子どもたちのこころの成長」とともに、学校訓「自律 友愛 創造」を高める学校づくりに邁進していきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。

＜PTA活動報告＞ 第55回九州高等学校PTA連合会(沖縄大会) 6月16日～18日

第3分科会「高校生の食とPTA活動」に参加して PTA副会長 中西 礼子

食は命の源であり毎日の食卓から「命」の大切さを学び伝えていくことがテーマであった本分科会はまず基調講演「食育は人生のスタートライン～食の原点は家庭・故郷にあり～」、そして4人のパネリストによる発表がありました。中でも島を離れる子供達(卒業生)に「手作り簡単レシピ」なる冊子を保護者が作成し渡している宮古高校のPTAのお話が印象的でした。また地産地消を進化させ自産自消の取組と食事への意識を改善している南部農林高校の3年生の発表も素晴らしいものでした。

今回の研修で私たち親は「食」をまさに「いのち」の根源、「養い」の基本であることを見据えなければならないと思いました。そのため私たちのPTA活動を通して育ち盛りの子どもの食生活を豊かにできるよう今後も研修を深めていきたいと思ひます。



PTA九州大会に参加して PTA副会長 山下 信雄

今回高校PTA九州大会に初めて参加させていただきました。

私が参加した分科会は「進路指導とPTA活動」という題目で四校の事例発表がありました。各学校とも共通して言われたことは「本人・保護者・先生」の話し合いやコミュニケーションがとても大切であるということでした。また、地域の方々の連携による取り組みなど紹介され「人生体験講話」ということで職業に就いて成功された方々の体験談や2・3年前に卒業した先輩の「卒業してから実感したこと」など身近な体験談を聞くことにより、子どもたちの興味をひき進路を考える上において役立つのではないだろうかと話されました。子どもたちの高校生活3年間はとても短いです。1年生の時から将来に向けて自分自身の「ライフプラン」を作成し目的意識をしっかりと考えていってほしいと思ひます。そのためには、まず保護者自身の職業観や生きる姿勢を子どもたちに見せて話し合うことが大切で必要なことだと思ひました。

幸いにして本校は、生徒たちの資格取得に先生方が努力していただいております。子どもたちの今後の進路にも大いに期待するところで、保護者の意識も高く、7月のPTA地区交流会においても連日、多くの先生方や保護者の方に参加していただき、意見交換など交わされました。PTA活動に積極的に取り組んでいただいております。PTA活動に積極的に取り組んでいただいております。



7/3(日) 学年別クラス対抗 ミニバレー大会



保護者・職員と180名の参加がありました。



9/4(日) AM7:30～ 環境整備活動

早朝から230名に参加頂き、校内・グラウンドの草刈りを行ないキレイになりました。



9/4(日) AM10:00～ 陶芸教室

(参加者14名)

母親委員会とインテリア科の協力を得て行いました。



- PTA総会4月24日…**出会率94.4%**
- 地区集会……………**出会率 74%**

昨年は口蹄疫などでPTA活動が中止となりましたが今年度、前期の活動にたくさんの方の参加を頂き有り難う御座いました。後期も同様お願いします。



都工の自転車マナーと事故の状況

都工生の交通事故の発生状況は、昨年より多く発生しています。担当の先生方は、事故をなくそうと一生懸命に指導して下さっています。一人でも多くの生徒の皆さんが意識を持って、自転車に乗って頂きたいと思います。今回は、事故状況や自転車の罰則を記事にしてみました。



◆ 守られていないルールと罰則 ◆

- 2人乗り(2万円以下の罰金又は科料)
- 並進(2万円以下の罰金又は科料)
- 夜間ライト点灯(5万円以下の罰金)
- 信号や標識待ち(3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金)
- 携帯電話ヘッドホン着用(3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金)
- カサさし運転(3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金)

本校における交通事故の発生状況 (平成23年7月15日現在)

		平成22年度	平成23年度
事故発生件数		18件	12件
自転車事故	相手方に原因	1件	4件
	自損事故(転倒など)	5件	1件
	前方不注意による衝突	2件	2件
	右側走行による事故	8件	2件
バイク事故	相手方に原因	1件	2件
	交通違反	1件	0件
	自損事故(転倒など)	0件	1件



自転車事故の加害者側の責任

- 1 刑事上の責任
罰金刑以上の刑事罰を受けると、救急救命士・理学療法士などの免許が取れない場合がある。
- 2 民事上の責任
被害者に対する損害賠償の責任を負う。
- 3 道義的責任
被害者を見舞い、誠実に謝罪する責任を負う。

自転車での加害事故例

女子高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、前方を歩行中の女性(57)と衝突。女性には重大な障害(手足のしびれ)が残った。

賠償額 5,000万円

交通ルールを守ることは命を守ること

生徒指導部 永野雅崇先生

昨年度、本校では18件の交通事故が発生しましたが、今年度は既に12件発生しております。なかには、0.5秒違えば命を落としていたかもしれないという事故も発生しております。そして、事故の多くは本校生徒の交通ルール違反が要因となっているケースも多く、学校近隣の方々からも自転車運転マナーの悪さについては、度々指摘を受けているのが現状です。

本校では、交通教室の開催や交通ニュースの配布、掲示、職員による街頭での交通指導など交通マナーの向上や事故撲滅に向けて、交通安全教育を推進しております。

ご家庭におかれましても、自転車運転マナー等を話題にさせていただくとともに、自転車やバイクの点検整備や保険への加入等も含めて交通安全への取り組みにご理解・ご協力を宜しくお願いたします。

●熱中症とは… 体の中と外の“あつさ”によって引き起こされる体の不調のこと

主な症状

軽症

めまい・立ちくらみ
大量の発汗

頭痛・吐き気
倦怠感

意識障害・けいれん
高体温

重症

熱中症を予防しよう

チェックリスト

あてはまるものはありませんか？

- 65歳以上、乳幼児
- クーラーや扇風機はキライ
- 暑さに慣れていない
- トイレを考えて水分を控えている



チェックの多い人ほど **熱中症に要注意!!**

- 暑くなりはじめの日
 - 熱帯夜の翌日
 - 冷房のない部屋
 - 湿度の高い環境
- ※盆地の夏は高温多湿



チェックの多い人ほど **熱中症が起こりやすい環境!!**

熱中症は予防できる!!

ポイント 1 熱中症の予防方法



- 寝る前**の水分補給
- 入浴はぬるめ、短く
- 部屋の温度をチェック

水分補給

- 「喉が渴いたなあ」→初期の脱水状態!!
- 運動や作業の前から水分摂取
- こまめに水分補給
- 汗をたくさんかいたら水分と一緒に塩分の補給も
- 市販のスポーツ飲料などを上手に活用

服装

- 吸湿性や通気性の良い素材で、ゆったりした風通しのよいもの、色合いも熱を吸収しない白系統の色が熱中症予防には効果的
- 直射日光は、帽子や日傘などを活用!

食事と休養

- 休養と睡眠を十分にとる。
- 野菜類や海藻類などをたくさん食べてビタミン・ミネラル類を補給。トマトやキュウリといった夏野菜は水分もとれて一石二鳥!
- 肉・魚・卵・大豆製品などのたんぱく質は疲労回復に必須!

●いつ起きやすい？

梅雨明けの7月下旬～8月

発症のピークは午後2時～4時

熱中症になってしまったら!?

手当ての基本は

「安静・冷却・水分補給！」

- ①屋外にいれば、すぐに日陰など涼しい場所へ移動。
- ②衣服をゆるめ、うちわ等で風を送り、体温が高い時はぬれタオルや保冷剤等、首やわき等を冷しましょう。
- ③スポーツドリンク等、水分、塩分を補給。
- ④嘔吐をして水分の補給ができないときは、病院を受診。

意識(反応)がない、
おかしい時には、ためらわずに **119番**



本校では
**保健室前
体育職員室前**
に設置してあります



今年の進路状況

参考：現段階での就職求人数状況（昨年度は7/1～7/13まで受付分）

	関東	中京	関西	中四国	九州	県内	合計
今年度	86	40	25	5	21	24	201
昨年度	105	42	26	6	17	19	215

●今年度求人見送りの主な企業●

- (県内) 橋詰家具 都城酒造 日東 久保産業 システム技研
 (県外) 新日鐵大分 新日鐵君津 コスモ石油 東芝ITサービス
 東京電力 三菱重工業 日立電子サービス 共英製鋼枚方支店
 トヨタ自動車九州 東急軌道工業



◆進路担当の先生に話を聞きました!!◆

<試験にむけての対策>

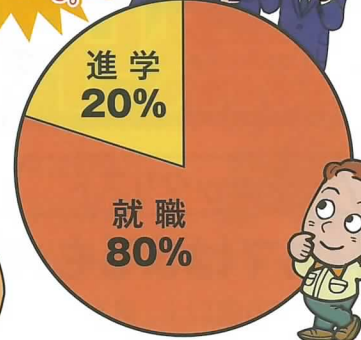
- ★一般常識の問題をやっておく。
- ★新聞を読むこと。(社会のニュースに関心を持つ)

<面接にむけての対策>

～面接官はどのような所を見るのか～

- ★臨機応変さ
- ★独創性

※コミュニケーション力がない、元気がない子は評価が低くなる。



22年度 就職と進学の割合

進路活動について ～ 今後を考えた上で今やるべき事～

<高校生活で大切な態度> (進路選択の幅を広げるために)

- 1 欠席をしないこと (3年で8日つまり1年で3日以上欠席があると不利)
- 2 評定平均を上げること (4.0以上)
- 3 授業を大事にし、基礎学力をつけること
- 4 部活動に参加し、必死で取り組むこと
- 5 より高度の資格取得を目指すこと
- 6 進学するにしても最終的には就職することを考え、次のことを実行し、職業観を持つこと

※過去の求人情がクラスに置いてあります。保護者の方でも見る事が出来ます。



卒業生へインタビュー

1 企業名

2 やりがいがありますか

3 寮生活は、どうですか

4 勤務時間、休暇に、満足していますか

5 定職したいと思っていますか

6 働きだして大変だったことは

7 後輩へひとこと



平成21年卒 情報制御システム科

- 1 東芝京浜工業所
- 2 あります
- 3 ちょっと不便
- 4 通勤時間はちょっときつい。休暇は満足
- 5 はい
- 6 自炊
- 7 ぜひ東京に来て下さい



平成21年卒 機械科

- 1 陸上自衛隊
- 2 ある
- 3 先輩達も優しく毎日が楽しい
- 4 正月・盆・ゴールデンウィークなど長期の休みがもらえるので満足している。
- 5 思う
- 6 先輩・後輩の上下関係
- 7 やればできる



平成20年卒 情報制御システム科

- 1 京セラ株式会社国分
- 2 大変だけど頑張っています。
- 3 楽しいです。
- 4 独身のうちは、交代勤務がしたかった。今は研究所で日勤のみである。
- 5 思っています。
- 6 コミュニケーション
- 7 企業が大きいので福利厚生はいいです。先を見込んで仕事の企画をしています。自分にあった仕事を探してください。

平成18年卒 電気科

- 1 東京電力株式会社
- 2 ある
- 3 規則などは厳しいがいろんな支社の人達と交流ができるので楽しい。
- 4 休日出勤などがあればその分の休暇がもらえるので満足
- 5 思っている
- 6 高校生と社会人の違い
- 7 仲間を大切に、勉強部活に励んで下さい。

平成21年卒 電気科

- 1 九州電力株式会社
- 2 ある
- 3 満足している
- 4 十分満足
- 5 思っている
- 6 20才・30才年上の方が沢山いるなかで、話を合わせるのが大変
- 7 ———





～校門までダッシュ～



生徒会役員が毎日掲揚しています!



情制1年生の実習風景です!



建シス3年生計測実習中。

先生に気を遣ってくれました。



初公開! 朝礼に潜入しました



インテ1年生。ウクレレ製作を行っています。



建シス3年生

屋根制作で模型を作っていました。賞状OKとの事。



カメラを意識してみんなマジメ!



就職試験にむけての意気込みを熱く語る3年生



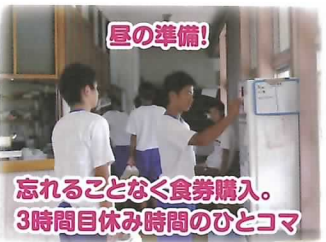
インテ1年生。レタリング基本をしっかりと!



楽しそうにバスケットを。リフレッシュ出来ましたか?



学校へ行こう! 母親編-9月5日(月)-



昼の準備!

忘れることなく食券購入。3時間目休み時間のひとコマ



さすが高校生!がっつり食べています。

エンゲル係数がたまりません。



3年電気科。真剣な表情と態度に空気も違います。



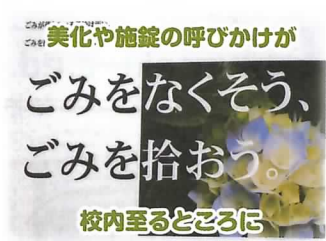
情制科。私も昔、習った覚えが...



都館名物! 特弁当をいただきました。まいう~



狭い机で友人と語り合いながら...



美化や施設呼びかけが

ごみをなくそう、ごみを拾おう。

校内至るところに



1日の終わりに清掃時間があります。

校内美化を積極的に!



昼休みに向けて準備が大変! 大変! 大変!



大切な昼休みに図書室で本を借ります。



使わないスリッパがキレイに.....



3年化学。「みんな~おるか~」

高校総体 準優勝 都工サッカー部



総体全般を振り返って

◆寺澤監督◆

チームとしてのまとまりが1戦々出来上がってきており戦う姿勢も構築されていた。尚、今後の課題として、瞬間々の状況に応じた正しい判断力と即応力、自立心などを更に高次元まで高められる様に、構築して行きたい。

◇北園部長◇

都工のOBとして決勝戦まで進めた事がとても嬉しい。チーム53人全員が一丸となり頑張った結果であると思っている。

◆今吉コーチ◆

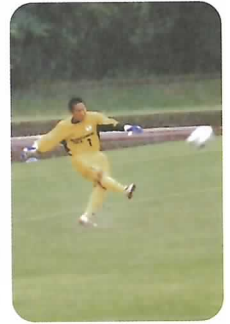
いい雰囲気で行けた。優勝こそ逃したもののいい試合が出来たと思う。決勝まで行けたのはチーム全員の力、次の選手権にむけてのステップとしたい。

◇藤山後援会 会長◇

選手だけでなく応援団も含めチーム一丸となった事で準優勝の栄誉を手に入れる事が出来たと思う。その結果8年振りの九州大会への出場を決めることが出来たととても嬉しい。

◆松川キャプテン◆

試合を重ねる度にチームの雰囲気やまとまりが益々良くなり決勝戦まで進めた。次の試合、大会に於いてもチーム全員で全力で頑張ります。



* 都城工業高校携帯サイト *



一週間の行事や、配布プリントなどの情報を掲載しています。携帯電話でQRコードを読み取るか、URLを入力してアクセスします。



URL → <http://www.miyazaki-c.ed.jp/miyakonojo-th/keitaiindex.html>

編集後記

まず、本誌発行にあたり、ご協力頂きました皆様方、広報委員会、一同心より感謝申し上げます。

PTA新聞の編集に携わって学校の様子等を知ることが出来ました。

皆様方からご提供頂きました原稿、取材結果を基に、知恵を出し合い、また、先生方から心強いご支援を賜わりながら、何とか発行にこぎ着くことが出来ました。

内容の方も充実している新聞ができたと自負致しております。各家庭で親子の会話を楽しみながらご覧下さい。

● 前期広報委員 ●

米丸	辰代
福島	綾
上原	里美
福田	丸知
藏中	里美
山崎	由美
山崎	直香
高坂	真子

● 広報委員長 ●

別府 満

● 顧問 ●

中山 治

